

# 月刊 グラフィックサービス

## No.863 2023 10



株式会社金精社  
代表取締役社長  
金子 貴博さん

株式会社金精社  
生産管理部 制作課  
瀬子 春美さん

### ■ 巻頭企画

## ジャグラ作品展大臣賞受賞社に聞く

開発・開拓部門 厚生労働大臣賞 菁文堂(株)

### ■ 巻頭言

## 地協(支部)活性化の一事例・ 第59回ジャグラ文化典岩手大会

—宮城県支部長 大橋 邦弘

### ■ 特別企画 高知・近森謄写堂の事業承継

## 若者がドキドキする格好良い商売人になろう

—(有)近森謄写堂 近森純一郎

### ■ 連載

## 業態進化のすすめ⑨

コミュニケーションツールBrushupとは  
知ってるあなたはジャグラ通 その弐



### ■ NEWSとお知らせ

SPACE-21 2023年夏の幹事会inもりおか  
ジャグラ作品展『一社一点』応募のお願い

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 地協(支部)活性化の一事例・  
第59回ジャグラ文化典岩手大会  
宮城県支部長 大橋 邦弘

■ 巻頭企画

- 2 ジャグラ作品展大臣賞受賞社に聞く  
菁文堂株式会社 専務取締役 谷山 和也

■ 特別企画

- 高知・近森謄写堂の事業承継(近畿地協セミナーから)  
6 若者がドキドキする格好良い商売人になろう  
有限会社近森謄写堂 近森純一郎

■ 連載

- 20 知ってるあなたはジャグラ通 その貳  
23 業態進化のすすめ⑨  
～新技術を取り込み強い会社になろう～  
コミュニケーションツールBrushupとは

■ NEWSとお知らせ

- 5 日印産連 2023年9月印刷の月 印刷文化典  
9 ジャグラBBホットニュース  
17 JPA後援会会員募集中!  
18 SPACE-21 2023年夏の幹事会inもりおか  
22 令和5年ジャグラ作品展『一社一点』応募のお願い  
26 7月秋田豪雨災害に関する御礼と現状のご報告  
28 業界の動き  
東北地協 幹事会  
日印産連 2023GP各大賞受賞者決定

- 16 雑学コラム⑩ 29 事務局日誌と今後の予定

- 10 ホリゾン・ジャパン(株)  
11 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)  
12 リコージャパン(株)  
13 (株)モリサワ  
14 (株)ショーワ  
15 東京リスマチック(株)  
16 (株)研美社  
表4 リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回/年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償(会費に含む) ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp) 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

# 地協(支部)活性化の一事例・ 第59回ジャグラ文化典岩手大会

宮城県支部長 大橋 邦弘



2017年6月に第59回ジャグラ文化典岩手大会が開催されました。大会のテーマは、東日本大震災でジャグラ会員のご支援に対する感謝の意を示し、復興の軌跡を表す『おでんせ、イーハトーブ岩手へ』を掲げました。

この大会は東北地協が主管し岩手県支部の主催で、岩手県盛岡市で開催されました。実行委員長は菅原正行支部長、実行副委員長は戸来一裕副支部長、そして事務局を向井一澄事務局長が束ねる布陣だったと思います。運営委員長として熊谷正司地協会長(当時)、運営副委員長として全国理事の私(当時)が実行委員会をバックアップすることになりました。

熊谷正司先輩と私は、準備委員会から打ち上げまで秋田と仙台から盛岡に手弁当で通いました。理由は後で記しますが、この大会を絶対に成功させ岩手の皆さんと一緒に歓喜の美酒を味わいたかったからです。

大会準備は新鮮な驚きの連続でした。私たちにあって盛岡は宮澤賢治と石川啄木に代表される文学が芽吹く洒落た街ですが、日本全国のジャグリストに盛岡の魅力をどうお伝えするのか地元民(岩手県支部)とよそ者(秋田・宮城)が喧々囂々やりながら、それはそれは有意義で楽しかった時間が大会当日まで続きました。

いざ参加申し込みが始まると前夜祭の目玉『わんこそば大会』の申し込みが芳しくありません。

向井さんから相談を受けて、東京の吉岡先輩(元会長)と菅野潔先輩(元副会長)、井上富美子さん、谷口理恵さんにわんこそば大会へご参加・盛り上げをお願いしました。

無事に参加者が揃った前夜祭のわんこそば大会では、吉岡先輩が器ごと喰らいそうな勢いで次から次へとそばをすすり込み菅野先輩も顔を汁まみれにして必死に食らいつき、本気の二人の姿に会場から盛大な拍手が沸き起こり向井さんと肩叩いて喜んだのを昨日のこのように覚えています。

大会パンフに載せる名刺広告も

大会パンフと  
わんこそば大会証

足りませんでした。このままでは大赤字の大会になってしまいます。ここは主管側の出番です。名刺広告のお願いをFAXでジャグラの友人たちにお願ひしました。その結果、何とか不足分を補うことができました。

大会は実行委員会の皆さんの奮闘により思い出に残るおもてなしができた大会になりました。記念講演会では大船渡印刷の熊谷雅也先輩が『震災体験と復興の軌跡』と題した講演で震災津波の凄まじさと復興への努力のお話に涙を拭う受講者が其処此処にいらっしやいました。

大成功に終わった大会ですが、舞台裏では予期せぬアクシデントが連発しました。運営上の不手際でお詫びの電話を掛けたり修正をお願いしたり様々なことが起きましたが、終わってしまえばノーサイドです。どこがダメだったかは当事者がいちばんよく分かっていることですし、無事にゴールに辿り着いたことを互いに称え合うことが、この成功体験を胸に刻むことが一番大事でした。

大会後の岩手県支部は、私が見ても羨ましいくらいに支部三役を中心に鉄壁の結束力と実行力を誇ります。一つの大きなイベント(試練)を通し苦楽を共にしたことでお互いの信頼が厚くなったのでしょうか。

実はこの大会が開催される1年前、岩手県支部は支部運営の歯車がうまく回っていませんでした。文化典開催の前に支部の立て直しが急務で、支部総会を以て菅原正行氏が新支部長に就任されました。この総会に出席していた僕は、菅原支部長の火中の栗を拾う覚悟に感銘を受けました。

どう考えても苦難の道しかないのに支部再生のために労を取る菅原さんとそれを支えようとする戸来さんと向井さん、だったら僕は岩手文化典成功の手助けを全力ではないか!そして文化典が終わったら勝利の美酒を味わおう(自分下戸ですが)。

甚だ浪花節ではありますが、これが手弁当で盛岡に通った理由でした。長文お読みいただき、心より感謝申し上げます。



# ジャグラ作品展

## 大臣賞受賞社に聞く

令和4年度のジャグラ作品展の入賞作品が決定したことは本誌6月号既報の通りです。今月から各部門で最高賞の大臣賞を受賞された4社にご寄稿いただき、受賞の喜び、作品に対する思い、完成に至るまでの裏話などを語っていただきます。

### 心のもやもやをレンジでチーンと成仏させるノート

開発・開拓部門 厚生労働大臣賞

#### 糸綴じ名刺

業務用印刷物部門 厚生労働省人材開発統括官賞  
名刺フェスティバル 特賞

#### 左ききの手帳2023

開発・開拓部門 作品展審査会委員長賞

菁文堂株式会社 専務取締役

谷山和也

この度、弊社オリジナル商品「もやちゃんノート」が、令和4年度ジャグラ作品展において、開発・開拓部門で厚生労働大臣賞を賜り、改めて御礼申し上げます。また、同じく開発・開拓部門で「左ききの手帳2023」、業務用印刷物では「糸綴じ名刺」、この「糸綴じ名刺」は名刺フェスティバルで特賞を賜りました。

このように今回、一度に複数の賞を賜り、喜びとともに大変驚いているのが、正直な感想になります。

今回初めての出品という事もあり、参考に過去の受賞作品を拝見しましたが、装丁も含め素晴らしい出来栄の作品が多く、今回弊社が出品した作品とは趣が違ふと感じましたが、弊社の作品は、書く事を・書く物を製作しているという特徴があり、その視点で評価いただけたら…という想いで複数点出品した経緯がありました。このように評価いただいたことに、審査員の皆様には感謝申し上げます。

「もやちゃんノート」は正式名「心のもやもやをレンジで

チーンと成仏させるノート」です。商品開発の背景としてデジタル機器の普及により紙媒体の利用シーンが年々減少していく中で、今の時代に「紙」だからこそ提供出来る新しい付加価値をと、注力しており、その中で、コロナ感染症も長期化し、この状況の鬱屈感を少しでも解消するような商品を開発できないかとの思いから、開発に至りました。アンダーログの手法を用い、抱えているもやもやを見える化し、上手にコントロールすることを目的としています。使用している紙は、紙が水に濡れて破れやすくなる性質をもち、オンデマンド印刷等、印刷適正もあり、この商品にうってつけの材料となります。また、糸も同じく水に溶けやすく、いずれも温水だと溶解が促進するので、レンジで温め、その際レンジがチーンと鳴る事と「りん」の音をかけ、もやもやした心を成仏させるという、世の中にあまりない観点の商品です。この商品は、弊社の代表 竹内靖貴が、考え、中心となり立ち上げた肝入りの商品になります。商品はネットのみで販売しており、(<https://moyachin.base.shop/>) 販売価格 990円となっております。この記事がきっかけで多くの会員様にお求め頂ければ、幸いです。

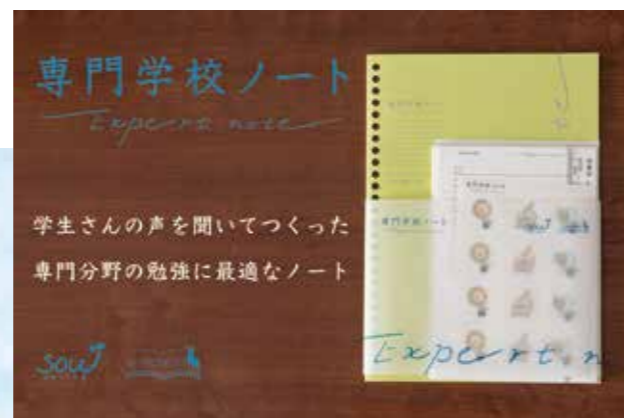
弊社は、製本業から始まった、創業114年という非常に長い歴史も持つ、老舗の会社になります。ノート製造から始まり、糸力ガリ製本の手帳製造に特化し、過去には自社製品を問屋に卸すなどをしていたようです。現在は、印刷、製本業として、OEMを中心に、手帳・ノートを製造しております。手帳の特徴は、1年間で何千回も開閉し、それに耐えうる強度と、使用しやすい180度開く糸綴じ

製本を採用しており、開きやすく壊れにくい、書きやすさにも特化した製品の開発を得意としています。近年は、受賞作品のように、自社商品の開発、または、クラウドファンディングによる共同出資や、企画・販売会社とコラボ商品等、チャレンジアイテムも手掛けるようになりました。その商品としては、「ノンブルノート」を手始めに「左ききの手帳」、「maketime手帳」を企画販売会社と一緒にクラウドファンディングで成功させ、現在も継続して、受注・製作をし続けています。いずれも弊社オリジナル用紙「菁文堂手帳用紙」を本文に使用しております。書くことにこだわりを強く持たれている方より選ばれており、大変うれしく思っております。また、「赤ちゃんのお尻のような滑らかさ」と評価いただき、また、多方面より用紙のお問合せいただいております。今後の展開が非常に楽しみと期待しております。こういったクラウドファンディングのチャレンジは、弊社単独で成しえない事です。手帳のコミュニティのイベント等で知り合えた繋がりが実を結んだのですが、こういった様々な方、会社様に協力頂きながら、社会における新たな価値・ニーズを探索していきたいと思えます。

また、他の受賞作品ですが、「左ききの手帳2023」は、SNSの投稿がきっかけでした。左が利き手の方が人口の10%いると言われておりますが、実際に左ききの商品は



もやちゃんノート



専門学校ノート



ノンブルノート



maketime 手帳

少なく、手帳もまた然りです。何度か企画提案をしました  
が、採用されませんでした。その時に先のクラウドファン  
ディングを経験していたので、やってみようか？の軽い気  
持ちから、とりあえず左ききの手帳を造る宣言をSNSで  
投稿。それに販売会社の方が反応していただいたのがき  
っかけでした。その後数年ECサイトのみでの販売をされて  
ますが、3年ほど継続して製造を担当させて頂いておりま  
す。

また「名刺フェスティバル」特賞の糸綴じ名刺ですが、  
こちら勢いで作ったようなもので、工場の工程部門から  
は、このままの仕様では、絶対受注しないで、との強い調  
子で諫められております…。とはいいながら弊社は継続  
して製造してもらい、我々が名刺交換の際には、必ずと言  
っていいほど名刺を評価いただいており、円滑に面談がで  
き、感謝しております。

弊社は、手帳・ノートのようなアイテムが得意なのです  
が、この商品を作ることを通じ、有難い事にいろいろなこ  
とを学ばせて頂いております。スマホやタブレット等の普  
及で手書きで書く、手帳・ノートが使われなくなったと言  
われて久しいですが、書く事・書く行為の重要性は様々な  
研究、または科学的に証明されているのもご存知かと思  
います。書く事は、記憶の定着が良い、または、脳を活性化  
する行為である等と言われております。

その書くという行為は、想いを伝えたり、過去を振り返  
る事で、現在地を確認し前に進もうとする事も出来る、ポ  
ジティブなアイテムである事がわかってきます。また、必  
要性・有用性また親しみを持って生活の一部となっている  
と考えており、今後の皆様の生活への貢献をすべく、好奇  
心を持って挑戦し、成長していきたいと考えております。

このように、手帳・ノートの製作に関わる事で、今後の  
菁文堂の立ち位置を社員とともに、確固たるものにすべく、

努力をしております。書く物を造るメーカーとして、当然、  
品質を評価していただく事。また、使ってもらえる物とし  
て、気持ちを前向きにできるアイテムを社会に供給する事。  
書き易く使い易い物を造り、我々が物を造る事は、書く事  
を応援できると考え、造りたいと思う気持ちに寄り添い、  
一緒にものづくりをしていく活動を継続して行きたいと思  
います。

最近、コンサルの方とも相談し、「書く事を応援する企業」  
を行動指針として、社内外に打ち出していき、活動してい  
きたいと思っております。

現在、菁文堂は、一部を残し営業含む管理部門、DTP  
部門の機能も越谷工場へ移転しました。心機一転、この大  
変な時期を乗り切れる様、社員一同となって活動しており  
ます。

今後、ジャグラに必要となる企業として、「書く事を  
応援する企業」を前面に打ち出して、貢献できるよう、チャ  
レンジし続けて行きたいと思っております。



菁文堂工場



糸綴じ名刺



日印産連  
2023年9月印刷の月 印刷文化典  
印刷功労賞に熊谷正司様(秋田)  
印刷振興賞に池邊寛様(大分)、樋貝浩久様(山梨)

印刷功労賞を受賞する熊谷様(右から5人目)

(一社)日本印  
刷産業連合会が  
主催する「2023  
年9月印刷の月  
印刷文化典」が  
9月13日、東  
京都千代田区  
のホテルニュー  
オータニで開催  
されました。

印刷文化典で  
は、「町工場の星  
ダイヤ精機(株)  
代表取締役 諏  
訪貴子氏に学ぶ

新経営改革」を演題に講演会を開いた後、記念式典で長年  
にわたり印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して  
顕彰する日印産連表彰が行われました。

ジャグラからは、印刷功労賞に相談役の熊谷正司様(秋  
田県支部、くまがい印刷(株))が、印刷振興賞に、副会長の  
池邊寛様(大分県、(株)エデンメディアワークス)、理事の  
樋貝浩久様(山梨県支部、(有)東和プリント社)がそれぞれ  
選ばれました。おめでとうございます。

印刷功労賞は印刷業界で団体運営を通じて印刷産業の  
発展向上に寄与した者に贈られます。印刷振興賞は業務の  
進歩改善に著しく貢献した者、若しくは特に技術優秀な者  
又は優れた発明考案をした者に贈られます。

日印産連表彰に続き、印刷産業環境優良工場表彰が行わ  
れ、北海道支部の(株)プリプレス・センター様が奨励賞を受  
賞されました。

印刷文化典の懇親会の後は、場所を移して熊谷相談役、  
池邊副会長、樋貝理事を祝う会が開かれ、3氏の受賞を祝  
いました。3氏には引き続き、印刷業界ならびにジャグラ  
の発展にご協力いただければと存じます。



左から池邊様、熊谷様、樋貝様

【印刷功労賞】

熊谷 正司  
株式会社くまがい印刷 代表取締役社長  
ジャグラ相談役

◆役員歴

2010年6月～2014年6月 理事  
2014年6月～2022年6月 副会長  
2022年6月～現在 相談役  
2012年6月～2022年6月 東北地協会長  
2010年から12年間ジャグラの副会長、理事などの要職に  
就く。各種委員会を歴任し、2014年から「教育技術委員会」  
の委員長としてインターネット放送「ジャグラBB」による教  
育および情報提供の推進を始め、ジャグラの数多くの事業を牽  
引した。また、2012年から8年間東北地協会長を歴任し、地  
元である秋田県支部の組織拡大と東北地協の活性化に尽力した  
功績は多大である。

【印刷振興賞】

池邊 寛  
株式会社エデンメディアワークス 代表取締役社長  
本部副会長

◆役員歴

2010年6月～2012年6月  
2014年6月～2016年6月 理事  
2020年6月～2022年6月 理事  
2016年6月～2018年6月 副会長  
2022年6月～現在 副会長  
2014年6月～2016年6月 九州地協会長  
2022年6月～現在 九州地協会長  
2015年4月～現在 大分県支部長  
2010年から副会長、理事、地協会長など要職に就く。九州  
地協、大分県支部の組織強化、活性化に貢献した。また、  
2022年からクロスメディア事業を担当し、「DTP教室」や  
「ジャグラコンテスト」の拡充を図る。

【印刷振興賞】

樋貝 浩久  
有限会社東和プリント社 代表取締役社長  
ジャグラ理事

◆役員歴

2014年9月～2016年6月 理事  
2016年6月～2018年6月 副会長  
2020年6月～現在 理事  
2016年6月～2018年6月 副会長  
2014年4月～現在 山梨県支部長  
2022年6月～現在 個人情報保護委員会委員長  
2014年から7年に渡り副会長、理事を歴任する。また、  
2015年から山梨県支部長として組織拡大、活性化を図る。  
2017年から個人情報保護委員会の委員、2022年からは委員  
長として個人情報保護の推進に貢献した。



左ききの手帳 2023



高知・近森謄写堂の事業承継（近畿地協セミナーから）

# 若者がドキドキする 格好良い商売人になろう

有限会社近森謄写堂 近森 純一郎

昨年11月に東京で開催された全国協議会では、地協の活性化についてテーブルディスカッションが行われました。近畿地方協議会は、この中で現状の課題は何かと議論を深めた結果、行き着くところは事業承継にあるという結論にいたりました。しかし、一言に事業承継といっても色々な形があります。中小零細企業で一番スタンダードなのは、身内への継承です。そこで全国のジャグラー会員の中から会社を引き継いだ若手経営者を探し、講演してもらおうと適任者を探していたところ、抜擢されたのが6月のジャグラー文化典高知大会で副実行委員長を務められた有限会社近森謄写堂の近森純一郎さんです。

8月4日、神戸市の神戸国際会館で「10年・20年なんて、アツという間 ジャグリストの皆さん他人事じゃないですよ!! 未来は今だ!! 事業承継もマネージメントする時代 File0001 近森謄写堂様の場合」をテーマに開催された地協セミナーから、近森謄写堂の事業承継についてご紹介します。

近森謄写堂はジャグラー文化典高知大会の会場となった三翠園から徒歩数分と、市内中心部に位置します。近森純一郎さんの祖父が1953年に創業して70年が経過しています。半径5kmを商圈に、ページ物（冊子）でレスポンスの高さを武器に事業を展開しています。



## 商売人として輝く祖父

弊社自体はもともとジャグラーに所属していましたが、私自身、本格的に活動し始めたのは昨年の10月頃からです。まだ会社も代替わりして3年目と分からないことがたくさんあります。ジャグラーの先輩方には色々教えていただければ幸いです。

私は今から17年前、愛媛県の松山大学を卒業してそのまま実家に帰って近森謄写堂に入社しました。家業を継ごうと決意する前は、飛行機が好きで、パイロットになるのが夢でした。実際、二十歳の時にANAのパイロット養成にエントリーしようと思ってましたが、その矢先に実家から祖父の具合が悪いという連絡がありました。松山から高知まではバスで片道2時間半くらいと近かったこともあり、実家からの連絡から祖父が亡くなるまでの半年間、毎週のように高知に帰っていました。その時、祖父が印刷のことや商売のことをみっちり教えてくれました。

私は一人っ子なので近森謄写堂を継ぐ人がいなかったこともあって、祖父には「商売は楽しいぞ!パイロットは商売人になってからでもなれる」と言われました（笑）

もともと絶対に自分が家業を継ぐんだという固い決意みたいなものはなかったのですが、病気をしても仕事を語る時の祖父は商売人として輝いて見えました。そうした商売人を祖父にもっていたというのが帰ってくる一つのきっかけになりました。

よく色々な業界の先輩に話を聞くと、皆さん実家に戻る前に色々な会社へ修行に出て、それから帰ってきますが私はそれがありませんでした。高校卒業まで家

に居たので必然的に商売の話ばかり家庭で聞いていたこともあって、「自分は（他所で）お勤めができないだろう」と思っていたからです。結果的に、それぞれ良し悪しあると思いますが、修行に行ってから家業を継いだ先輩たちの多くが「帰ってくるんじゃなかった」というのを聞くと、他所を見ないで自分は良かったと思っています。修行というと自社よりも大きな会社に行かれるので、自分の会社を斜めに見て悲観的になってしまっているように感じました。

その点私は、とにかく自分に“お勤め”する概念が1ミリもなく、印刷業という商売をやるんだ、印刷業をやるんだと決めて帰ってきたので「何か」と比較することはありませんでした。

大学2年の時に卒業に必要な単位を全て取っていたので、3年生からはゼミと好きな勉強だけやってあとはアルバイトに力を入れました。その時には実家に戻って家業を継ぐことを決めていたので、仕事に活かせることもあるかもしれないと、色々なアルバイトをしました。中でも肉体労働をした時に、お金を稼ぐ大変さを実感しました。今でもお金を稼ぐために頭をフル稼働していますが、アルバイトは自分のために稼ぐものである一方、今は社員さんもあるので皆のために稼ぐというふうに変化が起きています。

## 環境の変化をチャンスととらえる

印刷業界を皆さんはどう感じているのでしょうか？私が入社した時、事業の中心は軽オフのページ物でした。数年前に大阪の登ブリント社さんを見学する機会を得ました。そこでPODの魅力を感じてもらいました。職人さんが定年退職してからは現在POD一本の体制になっています。ここに印刷の未来を感じています。会社に入ってから2年ほど飛び込み営業に力を入れていると、色々な仕事に印刷が付随すること、どんな業界にも入っていけると気付いたからです。

事業承継はコロナ禍に行いました。コロナ前に比べ売上は1割落ちましたが、弊社の場合、現状の立ち位置はすごくPODがマッチしていると感じます。

最近、資材の値上げの話をよく耳にします。業者さんは皆さん「すみません」と言いながら会社に来られます。皆、ネガティブに考えがちですが、上がってしまうものは仕方ありません。むしろ最大のチャンスはこの資材高騰にあると思っています。ここで知恵を出して、どうしたらお客さんに値上げしても発注してもらえるかを考える癖を得るこ

とができたからです。どうしてもネガティブに思っていますが、私はこれがチャンスにつながると信じています。

弊社は他社と比較しても価格が高いと言われます。しかし、それでもどうしたら価値を高めて、値上げできるのか、利益を圧迫せず、社員さんが汗水流して作ってくれた印刷物を少しでも高く買ってもらえるのかを考えるのは、経営者の役割だと思います。まだ、社長になったばかりで分からないことだらけですが、一人で商売はできないことは分かっています。社員さんがいるから今、成り立っています。そこをうまく汲み取っていればまた違ったチャンスもあるはずですよ。

## レスポンス重視に仕事と生活を一体化

当たり前ですが、弊社にも既存顧客がいます。その人たちを大切にします。具体的にはレスポンスを良くしています。弊社には営業専属の人員がいません。妻と母、自分で事務所を回していますし、営業も梱包も色々やっています。

さらにうちは市内でも中心地に会社を構えていることもあって、来店型にしてお客さんが来てくれる状態をちゃんと作って、目の前のお客さんを大事にしていこうという方針を打ち出しています。実際、お客さんから仕事を紹介してもらったケースが多々あります。

最近では「ちょっと高いけど、奥さん美人だし、お母ちゃん面白いからコーヒーでも飲みに行ってみて」とお客さんが別のお客さんに言ってくれます。ふらっと立ち寄ってくれる会社は創業した祖父が目指していたものでした。

今の時期だと暑いので業者さんも汗だくで荷物を運んでくれています。そうすると冷たいものを渡したりしています。このちょっとしたことがお客さんも資材業者の人も大切にすることだと思っています。

お客さんや資材業者さんがいるから私たちは商売ができます。レスポンスを早くしようとすると、PODは小ロットが多いのでどうしても手ばかりが出てきます。しかも短納期です。そこを手ばかりしないよう、毎日社員さんに「自分は抜けてしまうことがあるので助けてください、抜けていたら連絡ください」と自身が一人では何もできない社長をアピールしていたら、社員さんが助けてくれるようになりました。社内で今までは抜けているところと指摘してくれなかったのが、今では自発的にお客さんのことを考えて、私の抜けているところを指摘し、皆でお客さんをフォローできるように少しずつ変わって来ました。

一方で、自分自身も、仕事に対して365日、24時間、

スマホに連絡が入ればすぐに対応することを決めています。元旦でも連絡は来ますが、普通に返します。そうすると新しい仕事ができます。休みだから今日は仕事をしないという感覚が私にはありません。釣りが趣味ですが、釣りをしながらこの前もお客さんにLINEを打っていました。関係ありませんが、こんな時に大物が釣れたりします(笑)

仕事も生活の一部になっているからこそ、お客さんと良好な関係になります。この考え方を教えてくれたのは西村 騰写堂の西村会長でした。

## マルチプレイヤーの育成に注力

弊社は、印刷部門とデータ制作部門の2つに分かれています。年一回、社員さんと面談します。

その中でも社員さんの意識としては、「自分はデータ制作なのでそれしかやりません」という感覚で、製本担当者も同じように製本しかしませんという感覚です。

部門ごとに分かれている社内体制に対する自分の概念を変えてくれたのは、先日、定年退職された職人さんでした。この職人さんはマルチプレイヤーで、軽オフも使えるし、PODも使えるし、断裁、仕上げもやっていました。職人さんがいなくなってから抜けてそのありがたみを感じています。社員全員があれもこれもできるマルチプレイヤーになれば、10人以下の会社でももっと効率よく回るのではないかと気付かされました。

「これしかできない」という人たちの集まりだと、その人が欠員すると仕事が回らなくなります。そんな時に、さっとその穴を埋めることができる人がいれば皆、休みもとりやすくなります。ちゃんと社員さんと話をすると、皆さんポテンシャルは高いです。どの会社もそれは同じです。どうすればそのポテンシャルを引きだしてあげられるのかを考えています。中にはうさがる社員さんもいますが、根気強く話をしていくと、「給料を上げなくていいから、休みが欲しい」と言われました。

マルチプレイヤーを増やして全員が休みやすい環境を作ることが今やるべき課題なのだと思います。

## 格好良い姿が業界、事業承継に

事業承継の話に戻りますが、社長になって3年が経過しました。事業承継でよく問題になるのが株ですが、私が承継する前の持分は25%で、母が25%、祖母が50%でした。その祖母が元気な時に、遺言書で会社の株を私に全て譲渡すると書いてくれていました。結果、そのまま相続

したので1円も出さずに済みました。祖母が事前に準備してくれていたことが予想外でした。

事業承継する前は、自分が会社を回しているんだという妙な錯覚に陥っていました。しかし、コロナ禍でふと思い返すと、私は祖父が作ってくれた会社を貸してもらっているだけだということに気付き、それ以来自分が回しているという考えを捨てました。天狗になっていた自分を戒め、会社を預かっているという意識で、存続させるために日々何をしなければならないかを考えています。

私が一番伝えたいことは、何で今まで仕事ができているのかということです。

一つは祖父が格好良かったからです。祖父はザ・商売人で、いつも目がキラキラしていました。その目に憧れていました。幸い私が高知に帰ってきた時も格好良い先輩や資材業者さんがいて、その人たちが印刷業界は下火だけど大丈夫だと応援してくれています。目を輝かせて印刷業界に未来があることを私達に教えてくれる方がいました。

憧れる先輩を見つけられる、そうした人が周りに居ることは非常に次の世代にとっては大切です。見方を変えると、今私達が格好良い後ろ姿を見せないと、後輩や若者はドキドキしません。後継者問題で悩む話は、どの業界も共通です。経営者が元気、カラ元気でも良いと思います。子どもから見たら「うちの父ちゃん格好良い」と思わせてくれる人がいないとあとの世代はついてきません。

私は自分が教えてもらったことを周りにも伝えて、どんどん行動するようになりました。それは私自身も格好良い商売人の姿を見せたいからです。祖父は何もないところから成りあがってきました。そのパワーを今一度再燃させなければなりません。高知支部の人たちは皆、目がキラキラしています。格好良い先輩、経営者、資材業者がいるというのは若い世代がドキドキします。

事業承継の前に、まずそうした体制をもう一度見直さなければと思っています。



<https://chikamori.jp/>

2023年10月

ジャグラBB  
JaGra Broadband Contents Service

HOT NEWS

# おすすめ番組情報

いますぐチェック!

ジャグラBB | 🔍

広報委員会  
が選ぶ!

印刷愛に溢れる討論会  
目から鱗のワードもチラリ



カテゴリー ニュース ジャグラ情報

## 「ぜんぜんジャグラ的じゃない参加型の討論会!!」 (2023.6.10 高知大会)

印刷業界を取り巻く外部環境の変化に対し、どのような視点で経営していくのかが語られました。その模様をジャグラBBでお届けいたします。

- ファシリテーター  
北原 利行氏  
(株)電通 電通メディアイノベーションラボ
- パネラー  
(株)マルワ  
代表取締役社長 鳥原 久資氏  
(株)ペーパークラフトイトウ  
代表取締役社長 伊藤 大介氏  
(株)バリュマシーンインターナショナル  
代表取締役社長 宮本 泰夫氏  
(有)西村騰写堂  
代表取締役会長 西村 啓氏



## 業態進化委員会主催ウェビナー

カテゴリー セミナー オペレータ向け



### 印刷業のためのCanva活用セミナー

AI搭載の無料デザインツール Canva。なぜ Canva が注目されているのか?その理由が分かります。



## アーカイブス

カテゴリー ニュース JN アーカイブス



### 業界元気印宣言

新しい業界イメージの創造に向けて— (1992年5月)  
制作: (社) 日本軽印刷工業会 CI 推進委員会



ジャグラBBは、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

# Horizon

Change the focus

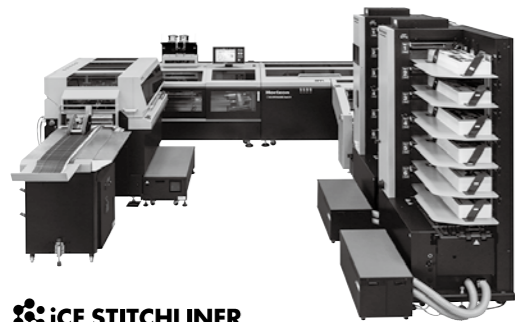
## Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

### ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

#### 自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

### 無線綴じ機 BQ-500

#### 作業効率と製本品質が向上

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバラアプル製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



iCE BINDER

### 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

#### 生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

### 三方断裁機 HT-300

#### 高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360  
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083  
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025  
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112  
仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068



「踏み出す力」になる。  
価値ある情報、豊富な知見、確かな技術で。

さまざまな現場課題、経営課題を、どう解決するか。  
これから進むべき方向性を、どう見極めるか。  
その答えは、一つとは限りません。だからこそ、信頼できるパートナーと共に、ベストな道を選びたいもの。FFGSは、広範なネットワークを活かした実践的な情報と、一社一社の戦略や課題に合った効果的なソリューションで、お客様の「最良の選択」をサポートします。そして、長年培ってきた知見と技術力を活かし、変革の一步一步をしっかりと支え、新たな未来へ向け、共に前進していきます。

一緒に答えを導き出す会社へ。

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

## RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコー日本の新たなビジネスコンセプトです。



## Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントの  
新しいサブスクリプションサービス  
豊富な書体ライブラリー / 複数デバイスでの利用 / 簡単なフォントインストール





# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



## ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

### 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

**SHOWA会**

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



**Lithmatic**  
<http://www.lithmatic.net>

SHOWA



店舗集客を加速する顧客管理ツール

大阪本社 ☎06-6351-1766 大阪府都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル5F  
東京営業所 ☎03-6228-3900 東京都中央区八丁堀2-20-9 八丁堀FRONT1F

# 研美社



社長がたまに踊る Instagram

人財育成への支援を通じて  
業界の「未来」を創る。

## JPA 後援会 会員募集中!

日本プリンティングアカデミー（略称 JPA）後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関である JPA への支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。印刷業界の「未来」を創る＝人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

### 役員紹介



後援会  
会長

「人材」を「人財」に

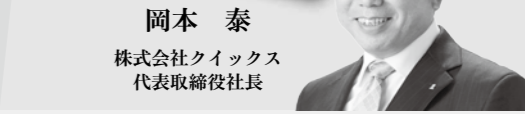
浅野 健 株式会社金羊社 取締役会長

JPA の伝統は、自ら学ぶ姿勢を身につけることを目指しているところにあります。現在、私たちは前例のない時代に置かれています。このような時には、単なる知識教育だけではどうにもなりません。自ら時代を振り返り、現在をどのようにとらえるか、真剣に、徹底的に考えることで、将来のイメージが浮かんでくるのではないのでしょうか。技術もマーケティングも同じことでしょう。「人材」を「人財」に磨き上げるきっかけを、JPA で経験して頂きたいのです。



作道 孝行  
作道印刷株式会社  
代表取締役社長

後援会  
副会長



岡本 泰  
株式会社クイックス  
代表取締役社長



幹事

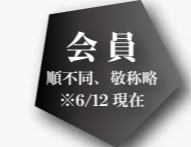
- 岸 昌洋 (株式会社正文舎 代表取締役)
- 岡澤 誠 (有限会社中溝グラフィック 代表取締役)
- 藤田 良郎 (瞬報社写真印刷株式会社 代表取締役)
- 斎藤 誠 (川口印刷工業株式会社 代表取締役会長)
- 佐川 正純 (佐川印刷株式会社 代表取締役社長)
- 古賀 修二 (祥文社印刷株式会社 代表取締役会長)

- 福田 和也 (誠伸商事株式会社 代表取締役社長)
- 田上 裕之 (株式会社笠間製本印刷 代表取締役社長)
- 日比野 信也 (株式会社文星閣 顧問)



顧問

- 花井 秀勝 (JPA 理事長/フュージョン株式会社 代表取締役会長)



会員  
順不同、敬称略  
※6/12 現在

- ㈩小森コーポレーション 共同印刷㈩ ㈩モリサワ 富士フィルムグラフィックソリューションズ㈩ 三美印刷㈩ 共立速記印刷㈩ 滝澤新聞印刷㈩ サンメッセ㈩ 柏山口印刷所 佐川印刷㈩ [京都] ハイデルベルグ・ジャパン㈩ 昭栄印刷㈩ ㈩博進紙器製作所 ㈩泰清紙器製作所 ㈩ニシキプリント リコージャパン㈩ ㈩T&K TOKA 東京インキ㈩ ㈩シンクグロー ジクス㈩ ㈩J SPIRITS CGS Japan ㈩ ㈩go-to-u ㈩佐久印刷所 ㈩日本HP ㈩ワールドプリンター 他、個人会員4名

### 年会費

個人会員 10,000 円

法人会員 30,000 円

### 入会特典

#### 特別講演会・親睦会へのご招待

後援会が主催する、特別講演会および親睦会へご招待いたします。また今後、業界を支える後援会役員と会員の皆様は情報交換・つながりをもつことができるプラットフォームを提供予定です。

#### JPA 主催セミナーの割引

JPA が主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員～管理職向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講可能です。※詳しい研修の詳細、金額についてはお問い合わせください。

### 入会方法

右の QR コードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。



入会に関するご質問・ご相談は電話もしくはメールにてご連絡ください。

電話 03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00 ~ 17:00

メール koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



## 雑学コラム⑩ 野口聡の

### 47 都道府県のお話 (その9:新潟県)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東文京支部のアクティブ・野口です。

先月で広報委員のお膝元は全て書きましましたので今月からはランダムに取り上げてみようかと。

まず今月は新潟県を取り上げようと思います。その中でも夏の風物詩の話をしようかと。

で、いきなり問題です。新潟県には日本で 10 か所しかない、とある施設があります、なんでしょう？

この答えがすぐに解った方は結構なジャンプラーですよ(笑)。正解は JRA (日本中央競馬会) の競馬場です。

新潟競馬は基本的には 5 月の第 1 週から 10 月の最終週まで開催されます。ちょうど今頃ですね。

その新潟競馬場、2001 年の大改修の際に造られ、上記の 10 の競馬場の中でもここにしか無い「直線 1000 m の 1 本道のコース」があります。そのコースを使って開催されるレース「アイビスサマーダッシュ」は第 1 回以来夏の風物詩になっております。(因みに「アイビス」とは新潟を象徴する鳥である

「朱鷺」のこと) で、今回このレースを取り上げたのには別の話があります。

私の趣味としてクイズがある、という事は沢山書いてきました。余り知られていない事ですが、47 都道府県の殆どに趣味でクイズをする社会人のサークル、が存在しております。勿論新潟にもそのサークルはありまして、コロナ禍の中もコツコツと開催されております。

このサークルがアイビスサマーダッシュ開催を祝して同じ日に第 1 回として同じ名前のクイズの大会(※)を開催しました。で、開催時期は変わりつつも大体秋口に毎年開催されております。22 年連続の開催というのは現在日本で開催されたクイズの大会の中で 1 番連続で行われている大会で、実際第 1 回開催時に生まれた子供が成人になって参加する、という事も起きます。

※この大会本当にロクでもない(誉め言葉)大会で、かつてはオープニングアクトとして NHK のニュースを切り貼りして編集して MAD ニュースを流し、更には新潟日報の号外として虚構新聞のようなウソニュースの記事を発表し、などやりたい放題の大会なのです。それでも毎回参加者が定員で埋まる所を見るとやはり、継続は偉大なり、だと思わずにはいられません。

上記以外にも新潟県は魅力が沢山ありますので、いつか皆さんも足を運んでみてくださいね。

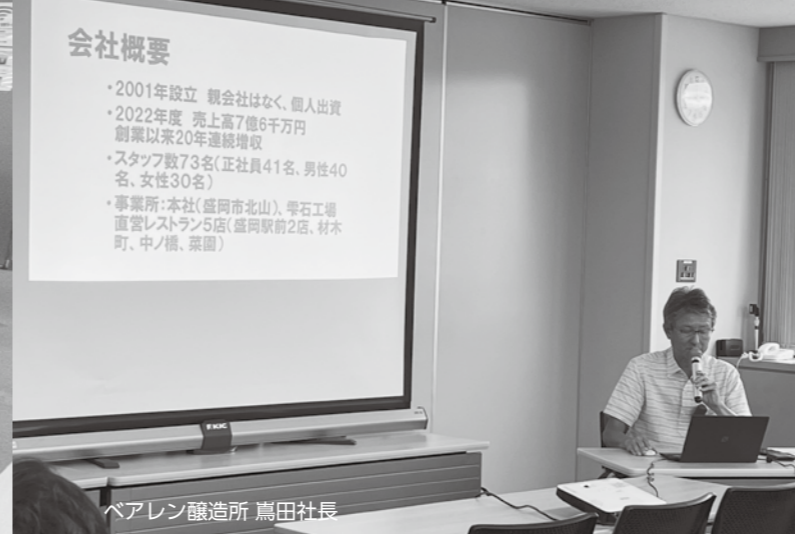
最後に今月の問題です。

問題：日本最北端の政令指定都市は札幌市ですが、日本最南端の政令指定都市はどこでしょう？

(正解は 29 ページ)

# SPACE-21 2023年夏の幹事会 inもりおか

幹事会の様子



ベアレン醸造所 鳥田社長



夏の幹事会を盛岡で開催一調べてみたところ平成 26 年 8 月以来 11 年ぶりのことである。

準備段階で会場は駅近の会議室を押さえたが、それ以外しつらの設えとしては思い切り趣味に振り切り、地元のクラフトビール会社へ打診。社長の講演と醸造所見学を取り付けた。

当日は県外から 25 人に参加いただいた（内訳は幹事 12 名、オブザーバー 12 名、事務局 1 名）。会議に先立ち、前もって募っていた猛者 6 人で盛岡名物のわんこそばに挑み、内 3 人が 150 杯到達。僅差ではあるが栄冠は笹井代表の頭上に輝いた。（激しいデッドヒートの模様はジャグラ BB にてご覧ください）

定刻となり会議開催。今回は幹事の他にも広く募り、10 名を超えるオブザーバーの方々に参加いただいた。活発な意見交換はお互いに新鮮な体験になったと思われる。

会議終了後、ベアレン醸造所 鳥田社長を招き講演を拝聴。異業種ではあるが成長企業として地元へ根付くブランディングについて、とても為になるお話を伺った。

バスで移動し醸造所見学。ドイツから移設した 100 年前の設備が未だ現役で稼働している様に皆興味津々。サービスビールで喉を潤す。

夜はベアレン直営レストランでビール飲み放題の懇親会。抵抗があるかと思いきや皆様クラフトビールを十二分に堪能いただいたようで、運営側としても設え甲斐があったというもの。楽しく飲むもの 是即ちビール也。

数ヶ月に渡る準備と運営も、漸く良い形で終わることができたと思います。ご参加いただいた方々に深い感謝を申し上げます。初めてお会いした方々ともお話しできたことは僥倖の思いです。何も無い田舎ですが楽しんでいただけたなら何よりです。そして当日まで支えていただいた東北の面々にも感謝します。ありがとうございました。

岩手県支部 名久井 龍 夫

## SPACE-21 夏の幹事会 in 盛岡に参加して

盛岡を訪れるのは 2014 年の 1 月以来、9 年ぶりです。当時、仙台へ所用があったついでに、東日本大震災の爪痕を自分の目で確かめて何らかの形で哀悼の献花をしたく、レンタカーを借りて三陸海岸を北上、岩手県内の各地でジャグラ仲間を訪ねながら、最後に盛岡市内で名久井さんとお会いしたものです。

さて今回、残暑厳しい大阪から来たものですから、秋の気配を感じる盛岡の気候に驚きました。季節感を先取りして遠くまで来たものだと実感する中、地元の方々の話す言葉聞いて、岩手県出身の歌人・石川啄木の歌「ふるさとの 訛なつかし 駐車場の 人ごみの中に そを聴きにゆく」を思い出し、これが「そ（それ）」なのかと旅情に浸りました。

前置きが長くなりましたが、幹事会には私と、大阪からのオブザーバーとして榎研美社 宇野伸弥とともに参加しました。幹事会の内容については別稿を参照いただくことにして、ここでは感想だけを述べます。全国からの青年部幹事約 30 名の方が一堂に会しますので壮観であります。青年部の行事もこうやって決まってゆくのです。それなりの費用と時間をかけて集まっていますので、討議する時間が現状の 2 倍ぐらいあってもよいかもしれせん。来年以降の課題としたところとす。

幹事会の後は地元密着のマイクロブリューリー・ベアレン醸造所の鳥田社長のご講演を拝聴し、同社の醸造所へ移動。見学と試飲を行いました。簡単に「地元密着」「地元愛」などと口走ってしまいましたが、地元の顧客に評価され、事業として実現できているのは大変なご努力の賜物だと察します。

その後は直営ビアレストランへ移動し、ベアレン醸造所が作るクラフトビールを堪能しました。いろんな種類があり、一つずつ賞味させてもらいました。その中でもジャグラスペース 21 会員同士の絆を深めていったのは言うまでもありません。鳥田社長がブランディングの要点として「想起してもらえるかどうか」とおっしゃっていました。ジャグラ会員同士も同様で、「この印刷物、このジャグラだよな」と想起されないといけないのだと知らされた次第で、学ぶことが多かったです。

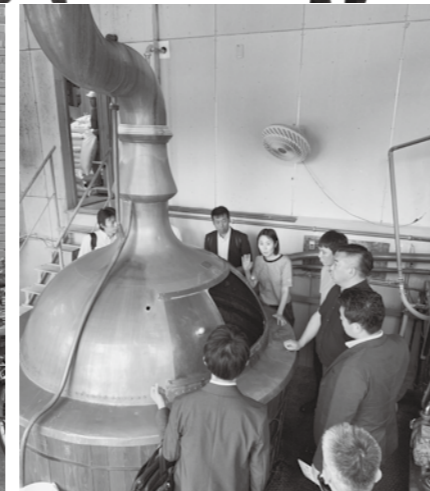
大阪平成会 尼崎印刷(株) 田治 宏敬



盛岡名物のわんこそばに挑戦



ベアレンビール工場直売所



工場見学



ベアレン直営レストランで懇親会



# オンデマンドで刷った表紙にPP加工してほしいとお客さんに言われたら、どうしてる？



PPフィルムの原反



西村くん せっかくこんなにキレイに印刷できたので表紙にPP加工もお願いしたいけど…

えっ！ PP加工？



前によその印刷屋さんでお世話になった時にすすめられてね。印刷しただけより格段に良くなったんだよ

その時は何部作りしましたか？



1000部

それはオフセットで印刷してますね。今回は100部をオンデマンドですので…



えっ！？ オンデマンドだったらPP加工はできないの？

できないことはないと思いますが、やったことが…



心の声

そんなに難しいとは思えないけど…前の印刷屋さんに聞いてみようかな

軽オフの時からそんなこと言われたことないしな。誰かに聞いたらいいのかな。



## 嘘みたいな本当の話 さて 皆さんはどうですか？

## ▶ ジャグラ会員10人に聞きました

「以前言われたことがあったけど、やんわり断ってPP無しでお願いした」  
「近くに外注先もないし、めったにないので断っている」  
「自社でPP加工しているけど、紙がカールしてクセを直すのが大変」  
「オンデマンドにPP加工すること自体、考えたこともなければお客さんに言われたこともない」



テンションによってはPP加工時の紙がカールする

「時々お客さんに言われるけど、内製化するほどの仕事はないので外注している。でも本当はあんまり外注したくない相手なので別にあれば助かる」  
「今頼んでいるところがイマイチなのでもっとキレイなところがあると助かる」  
「少し遠いところまで持って行っているのでもう少し近くにあるか、取りに来てくれる会社があるとありがたい」  
「PP加工をすると元の印刷より色が濃くなるので、それが心配でおすすめするのが怖い」

## ▶▶ それでどうする

オフセットのような高度な技術を使わなくても簡単にキレイなカラー印刷ができるオンデマンド機をせっかく導入したのならば、さらに上等の印刷物に見せられるグロスやマットのPP加工を積極的に活用してお客さんに喜んでもらいませんか。

ただ、何の問題もなく処理している会社も少ないようです。これに関して解決できるジャグラ会員からの情報をお待ちしています。

例えば

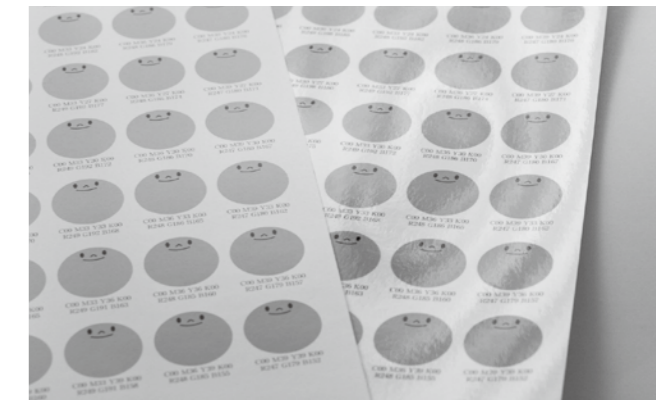
うちならいつでも外注先として使ってもらいたい  
この機械をぜひおすすめしたい  
いつも使っている外注先の情報等

逆に

うちも困っているのでぜひ教えてほしい  
機械を購入したいので使っているメーカーを教えてほしい  
おすすめの外注先を紹介してほしい等



卓上のPP加工機  
1メートル四方のスペースで設置可能



左:PP無し 右:PP有り  
PPによる色変化を比較できる確認用のチャート

## ▶▶▶ 知ってるあなたも知りたいあなたもジャグリスト

オンデマンド印刷+PPに関する情報はジャグラ広報委員会まで [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp)

# 令和5年ジャグラ作品展 『一社一点』応募のお願い

全国の会員の皆様におかれましては、いつもジャグラ本部の活動に深いご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、「令和5年ジャグラ作品展」の作品募集を開始するにあたり、改めて『一社一点』の応募のご協力をお願いいたたく存じます。

ご承知の通り、ジャグラ主催の本作品展は、経済産業大臣賞ならびに厚生労働大臣賞の2つの大臣賞を付与される業界内でも非常に稀有なコンテストです。会員の技術力向上や業界の技術向上の高揚に資するだけでなく、今年8月に東京・月島のギャラリーにて初開催しました作品展応募作の一般展示会「印刷屋さんのお仕事展」では、来場された一般消費者の皆様から想定を超える反響をいただくことができ、作品展の価値を改めて見直す機会となりました。

しかしながら、作品の応募点数はここ数年、大臣賞を維持するのに必要な点数をкаろうじて超えている状況が続いております。このままでは昭和41年以来続くこの歴史あるコンテストの存続も危うくなってまいります。

そこで会員の皆様におかれましては、「印刷作品の技術評価を通じ、業界の技術水準、さらに将来に向け切磋琢磨すべき技術課題等を探り、業界における技術向上意欲の高揚を図ること」を目的としてはじまった作品展の意義を再確認いただき、『一社一点』の作品応募にご尽力賜りたく、お願い申し上げます。

公私ともご多忙の折、大変恐縮ではございますが、全国各地の歴代先輩諸氏から57年もの長きに亘って受け継がれてきた作品展の維持、発展のため会員の皆様には『一社一点』以上の作品応募のご協力をよろしくお願いいたします。

敬具

2023年9月吉日

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会  
会長 岡本 泰

## 【ジャグラ作品展募集スケジュールと方法について】

11月号にて応募要項を掲載いたします。  
必要事項記入の上、作品1点を事務局に送付ください。

12月1日	募集開始
2024年3月31日	締切
2024年4月上旬	第一次・第二次審査
2024年4月中旬	最終審査会
2024年6月22日	表彰式 (リーガロイヤルホテル広島)

連載

## ジャグラコンパクト DX 業態進化のすすめ～新技術を取り込み強い会社になろう～

### 【第九回】 コミュニケーションツール Brushup とは



導入難度：梅

業態進化委員会はジャグラコンパクト DX の中でも「印刷業からグラフィックサービス業への転換」をメインテーマとし、「従業員数10人、年商1億円の会社が導入しやすい価格帯」を念頭に置き、最先端の事例やデジタルツールの可能性を追求していきます。印刷業界の先行き、将来像のヒントとなる事例を集め、印刷に拘らず、「創注」と「事業領域の拡大」を大きな柱とし、会員の皆様と情報を共有していきます。

必要となる費用や時間で松竹梅に分け、「①松＝研究・開発からスタートするツール」「②竹＝実践事例を交えたツール」「③梅＝すぐに使えるツール」を紹介していきますが、本連載では特に梅（一部竹）に分類されるツールを取り上げます。ツールは会社の能力強化、能力のバリエーション拡大により業態を進化させます。顧客にグラフィックサービス業の進化を感じてもらいながら、会員各社がそれぞれ小さなプラットフォームを構築し、顧客との関わり方をより進化させていければという思いで、委員一同、一丸となって取り組みます。是非お役立ていただければ幸いです。

業態進化委員会 委員長 中村 盟

### コミュニケーションツール

印刷会社が社内、顧客、協力会社との間でコミュニケーションをとる手法はインターネットの普及で大きく変革を遂げました。校正紙を用いた訪問や電話中心のコミュニケーションは、メールやビジネスチャットの活用で移動時間や待機時間などのリードタイムを大幅に短縮し、業務効率向上にも貢献しています。

また、印刷会社のアプリケーション（商材）も拡充を続

けており、印刷物の制作だけではなく、コンテンツプロバイダーとして、ホームページや動画の制作など多岐にわたるのではないのでしょうか？このような環境の中で、どのようなコミュニケーションツールが印刷会社にマッチしているのか？

今回は機能面、価格面共に評価の高い「Brushup」をご紹介します。

### 制作物のフィードバックに生産性を

現状の各種コンテンツのコミュニケーションの取り方に不満はないでしょうか？メールを活用したコミュニケーションでは、添付された校正データのダウンロードやチェック時の煩雑さ（使用する校正ツールの問題や、プリント、朱書き入れ後にスキャン画像にして返信されるケースもあり、フィードバックの方法が多岐にわたってしまい整理しにくい）を感じる事が多く、情報の共有に長けた一般的なビジネスチャットも印刷分野向けの校正に関する機能に乏しいのが現状ではないのでしょうか。

また、IllustratorのようなDTP専用のデータは、顧客の環境ではハンドリングするのが難しく、校正用のファイル形式としては不向きで、ファイル変換してお渡しするなどの配慮も必要です。

### Brushup

Brushupは、ウェブ上で利用できるクラウドタイプのコミュニケーションツールで、制作物のやりとり、フィードバック、工程管理が可能なツールです。導入企業は、14,000社を超え、印刷会社問わず一般企業に多く採用されています。大きな特徴は以下のような点です。

- ・多彩なデータ形式に対応
- ・校正、チェックのツールが充実
- ・案件毎にタイムラインに集約



## プロジェクト管理

それでは、優れたコミュニケーション機能を順を追って説明いたします。各案件（アイテム）は、ワークスペース、プロジェクトの中で管理され、アイテムはタイムラインで管理されます。メールでコミュニケーションをとる際の各受注案件の情報が雑多になる事もなく、必要な情報に最短で辿着けるように整理されています。



階層管理

## シンプルレビュー

多くのビジネスチャットは情報の共有に長けていますが、印刷会社が校正のチェックに利用するような機能は持ち合わせていません。Brushup は、直感的な操作でドキュメントに校正コメント（朱書き）のレビューが可能です。レビューはドキュメントだけではなく静止画・動画にも対応しており、印刷物以外のコンテンツ制作時の校正のチェックが可能です。操作は全てブラウザソフトで実施可能で、タブレット端末、スマホからも専用アプリの活用で操作が可能です。校正時の情報は、参加したメンバーで

共有されるため、一枚の校正の上にメンバー全員でチェックをおこなうようなイメージです。メール添付でコミュニケーションを取る際に見受けられる個々の校正結果を一枚の校正にまとめるような手間も不要であり、転記モレのようなミスも防止できます。



ドキュメントレビュー



動画レビュー

## 多彩なファイル形式に対応

多くのファイル形式がアイテムにて共有可能です。校正時に多用される PDF だけではなく、ai、psd、avi、mov、mp4、pptx、doc、xlsx などシンプルレビューで校正の共有できます。ちょっとした確認に Illustrator の ai データを使用したいと思った事はありますか？先方で Illustrator のアプリケーションを所有していないため、PDF に保存し、添付して共有といった工数・配慮をかけていませんか？ Brushup ならば、ai データをアイテム登録するだけで、ブラウザソフトでレビューできます。コミュニケーションに Illustrator のアプリケーションは不要です。

## 進捗管理

各プロジェクトは、進捗状況のチェックのため、ステップ（工程）の設定が可能です。工程の分け方や工程の名称は印刷会社毎に異なるため、ステップの設定は、編集、カスタマイズが可能です。また、各ステップは、担当者、期

日を決めてガントチャート（進捗管理表）にして共有できるため、各案件が受注全体の中で予定通り進んでいるか、メンバー全員で進捗を把握できます。



ステップグループ一覧



ガントチャート

## Brushup の利用プラン

エントリープラン（無料）～エンタープライズプランまで目的や機能によって契約プランが用意されています。また、Chatwork、slack などのサービスとの連携機能にも対応しています。エンタープライズプランには、有償オプションとして校正記号の挿入や文字列の検索、ハイライトが行える「校正支援機能」や、差分を比較検版する「差分検出機能」、Box 連携など印刷会社でメリットのある機能が用意されています。

機能一覧&アカウント種類一覧	機能	詳細	ENTRY アカウント 1000名	LIGHT アカウント 100名	STANDARD アカウント 200名	ENTERPRISE アカウント 10000名
ステップ管理	アカウント毎にステップ管理		○	○	○	○
静止画レビュー	JPG、PNG、GIF、AI、PDF などレビュー		○	○	○	○
ドキュメントレビュー	PDF、PPT、DOC、XLS などレビュー		○	○	○	○
動画レビュー	MP4、MOV、AVI などレビュー		○	○	○	○
音声レビュー	スタジオ収録音声を録音してレビュー		○	○	○	○
ファイルダウンロードのレビュー	お客様のAIファイル共有機能		○	○	○	○
注釈欄のコメント	Brushup に登録している他の企業とつながる		○	○	○	○
レビュー履歴	過去のレビュー履歴、PDF 添付		○	○	○	○
連携機能	連携先を複数登録可能		○	○	○	○
ガントチャート	アイテム単位でスケジュール管理		○	○	○	○
カスタム属性	アイテムの属性管理機能追加		○	○	○	○
メール通知	プロジェクト単位でメール、メッセージの共有		○	○	○	○
アイテムの一括管理・一括	アイテムの一括管理・一括削除、一括移動		○	○	○	○
アカウント・プロジェクトメンバーの一括管理	アカウント・プロジェクトメンバーの一括管理、一括削除、一括移動		○	○	○	○
プロジェクトの複製	プロジェクトの複製		○	○	○	○
コメントの複製	コメントの複製、コメントの複製も追加可能		○	○	○	○
連携先管理機能	連携先管理機能、アイテムの複製管理機能など		○	○	○	○
チャットサービス連携	Chatwork、Slack と連携		○	○	○	○
S&M 連携 (ビジネスアカウント)	Apple AD、Google G Suite、Microsoft 365 と連携		○	○	○	○
クラウドストレージ連携	Box と連携		○	○	○	○
校正支援機能	文字列の検索、校正記号の挿入、文字列のハイライト		○	○	○	○
差分検出機能	画像、PDF の差分検出機能		○	○	○	○
レビュー履歴のダウンロード	レビュー履歴のダウンロード		○	○	○	○
Web 版 (モバイル)	モバイルからでもレビュー可能、検索などの機能が利用可能		○	○	○	○
専用サポート	電話、メール、チャットサービスによるサポート		○	○	○	○

プラン一覧

## 企業間コラボレーション

情報、校正の共有は社内だけに留まりません。企業間コラボレーションを利用すれば、Brushup を契約中のつながりたい企業にコラボレーション申請を出し、承認されれば、社外のメンバーともコミュニケーションが可能です。

企業間コラボレーションで招待されたメンバーは、招待した企業の契約している機能を同じように利用できます。印刷会社がエンタープライズプランで契約していれば、エントリープランのメンバーでも招待された印刷会社のエンタープライズプラン相当の機能が利用できる事になります。

## Brushup で DX に取り組む

Brushup は、印刷会社が社内外で必要とするコミュニケーションの機能が網羅されている事、企画・デザインから校了までの各工程で工数削減およびリードタイム短縮が図れる事、比較的割安な予算でスタートできる事など、DX で新しい仕組みの構築を狙う印刷会社のコミュニケーションの手法として最適なツールではないかと思えます。

### ■ Brushup ホームページ

<https://www.brushup.net/>

### ■ エンタープライズプランに関するお問合せ

<https://www.screen.co.jp/ga/Proofcafe>

# 7月秋田豪雨災害に関する御礼と現状のご報告

株式会社東海林印刷  
代表取締役社長 東海林 正 豊

まずはじめに、7月14日に起きました秋田市および五城目町を中心とした豪雨災害に関し、全国の皆様から暖かいご声援とご支援をいただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。災害から2ヵ月あまりが経とうとしていますが、現在の復旧状況と今後についてご報告させていただきます。

## 秋田県全体および弊社被害状況

今回の災害は、今年5月から7月にかけて九州や東北など全国各地で相次いだ大雨災害に関連するもので、8月30日付で政府による「激甚災害」に指定されました。

秋田県内の被害状況としては、8月末時点で住宅被害が約8000戸、うち床上浸水被害が約5000戸となっています。

当社のある秋田市檜山地区も大きな被害を受け、会社社屋、会長宅、私の自宅、その他所有家屋、アパートが全て床上浸水となり、車も社有車と個人所有を含め8台が廃車となりました。会社設備に関しても1階部分にあるオンデマンド機、断裁製本設備、事務機器諸々が水に浸かるという状況となりました。

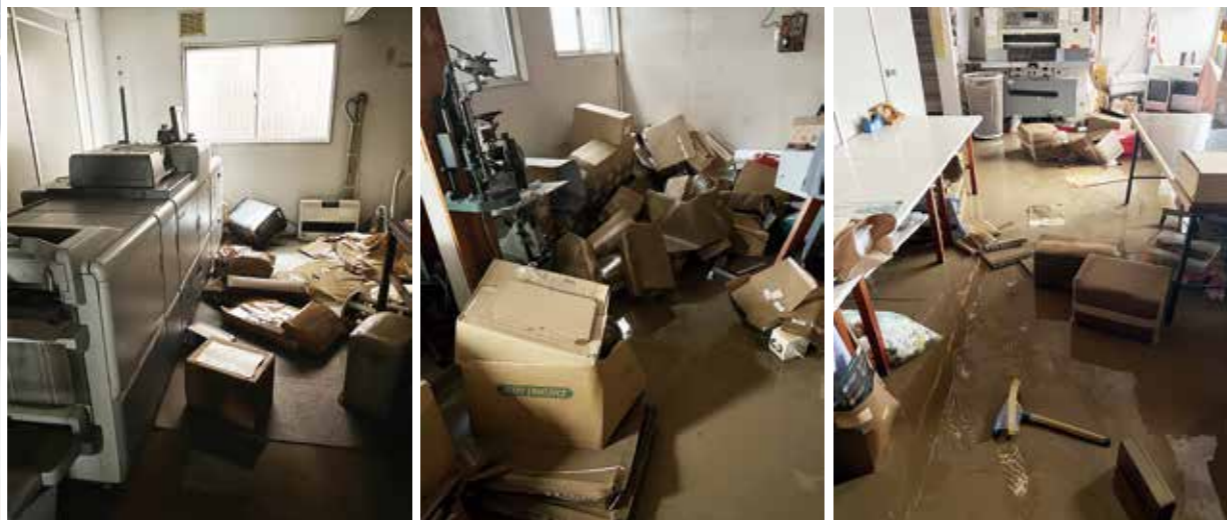
## 内水氾濫の恐ろしさ

これは大雨による河川の氾濫ではなく、下水道等の排水施設の能力を超えた雨が降った時や、雨水の排水先の河川の水位が高くなった時等に、雨水が排水できなくなり浸水する現象「内水氾濫」によるものです。内水氾濫は別名「都市型水害」とも言われます。アスファルトなどで覆われ雨水が地下に浸透しにくいいため、東京都内では被害の9割近くが内水氾濫によるものです。近くに河川がなくとも都市部のどこでも起こりうる水害で、当社も創業70年以上が過ぎましたが、まさかこのような災害が起こるとは夢にも思っていなかったのが正直なところです。近年の異常気象による影響が今後日本国内どこにでも起こりうると感じます。

## 復旧作業にいたるまで

私の自宅から会社まで徒歩3分ほどですが、会社の惨状を目の当たりにしたのは災害発生から2日後だったと記憶しています。これは自宅も床上浸水となり、目の前の道路も胸下ほどの水位があり身動きが取れなかったのが理由です。その間電気、ガスは止まりましたが水道が使えることは唯一の救いでした。水が引いた後はまず自宅の居住スペースの確保から始まり、家族総出で泥出しを2日間かけて行いました。会社はそのあと7/17から社員総出で行いましたが、作業初日から地元の同業者様、そして関連企業様が駆けつけてくださり、およそ1週間で泥出しと清掃、そして水に浸かってしまった設備や製品の運び出しを行うことができました。これは驚異的な早さだと思いますし、

水没したオンデマンド機（左）、社内の様子（中央・右）



地元の皆様の協力がなければなしえなかったことは言うまでもなく、今思い返しても感謝の念に堪えません。



社員による清掃（左）、協力会社によるオンデマンド機の搬出（中央）、廃棄した製品の一部（右）

## 業務再開とその後

多くの皆様にご尽力いただいたおかげで浸水被害からおよそ2週間後には業務を再開することができました。しかし少ないとはいえ社内設備は一つも使うことができず、納品物に関しては近隣の同業者様に対応いただきました。弊社の特徴として日頃から社内にはない設備に関しては地元同業者様に協力いただくことが多く、そのノウハウが図らずも活かされることになりましたが、本当に親身に対応していただきとても助かりました。日頃の関係性が災害時に大切になるとあらためて感じることもありました。そして1か月後にはメーカー様からオンデマンド機の代替え機を搬入いただき、現在はほぼ通常通り社内制作を行うことができるようになりました。こちらも早急な対応に心から感謝申し上げます。

## 補助について

激甚災害に指定され自治体が復旧工事を行う費用などについて国からの補助率が引き上げられることになり、防災担当大臣からは「被災した自治体は財政面や資金面に不安を持つことなく、災害復旧に取り組んでほしい」とあったとのことですが、実際はまったく異なり、公共土木施設や農地・農業用施設、私立学校施設などの災害復旧事業に対しては手厚い補助が出るよう

ですが、当社のような製造業や中小企業の被害は大きくはないとの判断で、国と県あわせて上限50万円までの補助額のみとのこと。さらには補助に必要な被災証明すら2か月以上たった今も発行されておらず、被災認定内容も分からない状況です。その間に

も社内在庫し浸水でダメになってしまった顧客商品の作り直し費用が数百万単位、その他社屋復旧造作、内装工事費用はその何倍とかかる見込みです。

これは印刷業界全体として国や行政へ働きかけたいところでもあります。

## 保険、BCPの重要性

このように予期せぬ災害に見舞われてしまいましたが、少ないながら各種保険に入っていたことが大きな助けになりました。車や建物の一部は保険で対応できることや、業務に関しては制作物のデータがすべて復旧できたことは大きな救いになりました。

今後はこのような災害が再び起こることを想定し、さらに十分な対策が必要と感じています。制作物や顧客データ、そして経営情報のクラウド化もその一つですが、今回は幸いにも従業員に被害はありませんでしたが、もし被災した場合に会社としてどう対応するのか等、BCP（事業継続計画）をしっかり立てることの重要性をあらためて感じています。

長々と述べてしまいましたが、今一番感じているのは印刷業界の助け合いの精神がどれほどありがたく、力になったかということです。ジャグラー会員、全印工連加盟企業、各青年団体組織その他個人の方々から100件を超える物資による支援をいただきました。そして東日本大震災の被害にあわれた福島をはじめ東北各県の企業様からの助言と支援、同様に20年以上前の東海豪雨で被災した地域の企業様からの励まし、そして全国の同業関連業様からの声援があってここまでやってこれたと心から感じています。

まだまだ道半ばではありますが、災害前よりもいい会社にしてやる！その意気込みで乗り越えたいと思います。

# 業界の動き

## ジャグラ

### 第一回幹事会を開催 秋田県豪雨被害の報告と見舞金を委託 東北地協

8月25日、ハーネル仙台にて、令和5年度第1回東北地方協議会幹事会が開催されました。午後3時から5時まで、同会場で幹事会を開き、午後5時半から7時半までは、伊勢屋・クリスロード店に場所を移して懇親会を行いました。(地協幹事会12名出席 懇親会9名出席)

熊谷晴樹東北地協会長の挨拶から始まった幹事会は、東北地協総会宮城大会の総括、秋田県豪雨被害報告と見舞金委託、今期活動計画などを話し合いました。

活発な意見交換の後はクールダウンして青葉区クリスロードにあるステキハウス伊勢屋にて暑気払いを行い、懇親を深めました。



松原秋田県支部長に見舞金を託しました。  
(右：熊谷地協会長)



東北地協幹事会

## 関連団体

### 普及大賞に文伸、準大賞にあさひ高速印刷 GPマーク普及大賞ゴールドプライズ新設 日印産連

(一社)日本印刷産業連合会はこのほど、グリーンプリンティング(GP)認定制度の2023年度「GP環境大賞」、「GPマーク普及大賞」、「GP資機材環境大賞」の受賞者を決定しました。表彰式は10月18日に東京・市ヶ谷のDNP左内町ビル・ホールにおいて実施する予定です。

なお、過去3回以上GPマーク普及大賞を受賞した印刷会社で継続的な実績が認められた場合には、最大の賛辞と敬意を表するために、今回から新たに「GPマーク普及大賞ゴールドプライズ」を新設し、贈呈することになりました。

## 【GP環境大賞】

2023GP環境大賞ゴールドプライズ(本年度は該当なし)  
<一般印刷の部>

2023GP環境大賞(3社)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、東武鉄道(株)  
日本航空(株)

2023GP環境準大賞(5社・団体)

(社福)恩賜財団済生会、(株)ジェイアール東日本企画、  
全国間税会総連合会、(株)ポスティングセンター沖縄、  
HOYA(株)アイケアカンパニー

<パッケージ印刷の部>

2023GP環境大賞(1社)

(株)あわしま堂

2023GP環境準大賞(2社)

国分グループ本社(株)、竹下製菓(株)

2023GP環境大賞特別賞(1社)

プレミアアンチエイジング(株)

## 【GPマーク普及大賞】

2023GPマーク普及大賞ゴールドプライズ(2社)

NTT印刷(株)、六三印刷(株)

<オフセット印刷部門>

2023GPマーク普及大賞(3社)

(株)笠間製本印刷、(株)文伸、丸正印刷(株)

2023GPマーク普及準大賞(6社)

あさひ高速印刷(株)、伊藤印刷(株)、岩岡印刷工業(株)、  
(株)大川印刷、精英堂印刷(株)、(株)太陽堂印刷所

<グラビア・シール・スクリーン印刷部門>

2023GPマーク普及大賞(1社)

(株)四国グラビア印刷

2023GPマーク普及準大賞(1社)

(株)巧芸社

<製本・表面加工部門>

2023GPマーク普及大賞(1社)

TADクロスメディア(株)

2023GPマーク普及大賞特別賞(本年度は該当なし)

## 【GP資機材環境大賞】

<資材部門>

2023GP資機材環境大賞(1社)

ウエノ(株)

<機材部門>

2023GP資機材環境大賞(1社)

富士フイルム(株)

## 事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

## 9月の事務局日誌

- 1日 生産性向上委員会(Web会議)
- 4日 業態進化委員会(Web会議)
- 5日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会(本部)
- 6日 日本自費出版文化賞最終選考会→岡本会長  
HOPE2023(アクセスサッポロ、～7日)  
→岡本会長、原田副会長、中村理事、田中専務  
Pマーク現地審査(福島)→並木、今田
- 8日 SPACE-21 幹事会(岩手)  
サステナブル委員会(Web会議)
- 11日 Pマーク現地審査(東京)→田中
- 13日 MIS研究委員会(Web会議)理事会(ハイブリッド)  
日印産連・印刷文化典(ホテルニューオータニ)
- 14日 Pマーク現地審査(神奈川)→並木、今田、長野
- 15日 JIPDEC 記念式典(東京)→今田  
取引改善推進プロジェクト(Web会議)  
DTP教室運営委員会(Web会議)  
DX事業委員会連絡会議(本部)
- 21日 作品展委員会(Web会議)
- 22日 地域活性化委員会(Web会議)
- 25日 日印産連・ステコミュ→岡本会長、田中専務
- 26日 ジャグラコンテスト専門委員会議(Web会議)
- 29日 Pマーク現地審査(兵庫)→並木、今田

## 10月のスケジュール

- 4日 日印産連 知的財産部会(Web会議)→田中専務  
Pマーク現地審査(神奈川)→並木、今田  
広報委員会(Web会議)  
日印産連知的財産部会→田中専務
- 5日 ジャグラコンテスト委員会(Web会議)  
業態進化委員会(Web会議)
- 7日 SPACE-21 全国協議会(熊本)→岡本会長、田中専務、今田
- 11日 Pマーク現地審査(秋田)並木、今田
- 12日 Pマーク現地審査(秋田)並木、今田
- 13日 全印文化典広島大会(広島)→岡本会長、田中専務
- 14日 ジャグラ文化典広島大会実行委員会(広島)→田中専務
- 18日 日印産連 環境大賞表彰(東京)→田中専務  
Pマーク審査会・個人情報保護委員会(本部)
- 19日 委員長会議(Web会議)
- 20日 地域活性化委員会(本部)
- 21日 関地協群馬大会(群馬、22日)→岡本会長、田中専務
- 26日 Pマーク現地審査(大阪)並木、今田
- 27日 Pマーク現地審査(大阪)並木、今田
- 28日 ジャグラコンテスト2次審査実技試験(本部)
- 30日 日印産連 環境推進部会(Web会議)→田中専務  
正副会長会議(Web会議)

## 11月のスケジュール

- 9日 MIS研究委員会(本部)
- 10日 理事会 / 全国協議会(東京ドームホテル)
- 11日 自費出版文化賞表彰式(アルカディア市ヶ谷)
- 13日 SPACE-21 幹事会(Web会議)

## 事・務・局・便・り

ご当地カップ酒がマイブームです。最近はイラストがプリントされていたり、瓶自体も凝ったデザインが施されていて出張や旅先で目にとまるとつい買ってしまいます。飲み終わったカップをコレクションしていますが、あっという間に増殖するので、最大20個まで決めて、それ以上になったら入れ替えます。くまもん、チャーバクんとみきゃんはかわいいので殿堂入りです。これからも新たな出会いが楽しみです。(並木)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

## 月刊「グラフィックサービス」863号

■発行日 令和5年10月10日(毎月1回)  
■発行人 岡本 泰  
■編集人 本村 豪経  
■発行所  
一般社団法人  
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp)

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事

神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長

委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事

委員

東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷

谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)

野口 聡 東京 / (株)アクティブ

小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング

安達 睦男 大分 / (有)舞鶴孔版

瀬尾 淳 広島 / (株)広瀬印刷

三宮 健司 高知 / (有)三宮印刷

佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ

西谷 毅 東京・文京

松谷 勝広 東京・文京

笹井 靖夫 東京・文京

田中 良平 専務理事

影山 史枝 外部委員 / (株)スイッチ

◎原稿・編集・校正

田中 良平 並木 清乃 阿部奈津子

今田 豪 長野未奈美

以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平 並木 清乃

◎広告

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ

DTP = Adobe CC ほか

フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂(高知・高知支部)

RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf

CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)

刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F

印刷機 = RYOBI 924D

インキ = 東洋インキ

用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2023 JaGra

禁断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です

原則、TMや®マークは省略しています

※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】 熊本市



# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



### RMGT-CSPIが SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

